

IV 事業

1 令和元年度事業報告

令和元年度事業の概要

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めています。

令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により多くの主催事業・貸館事業が中止や延期となってしまいましたが、市民の自主的な文化活動を支援するとともに、指定管理施設を生かして、市民各層の皆さまに多様な分野による質の高い創造的な芸術文化事業を提供し、合わせて普及と育成に努めました。また、歴史博物館等を通じ、「みなとまち新潟」の魅力を広く皆さまから楽しんでいただくための事業を展開しました。

財団運営では、新潟市の財政が厳しい状況にある中、事業の効率化に努め、経費の圧縮と節約を常に意識しながら取り組みを進めました。

当財団の事業体系は以下のとおりです。

(公益目的事業)

公1 事務局事業

- 1 文化事業
 - ・アーツカウンシル新潟の運営
 - ・主催・共催、表彰顕彰、支援助成等事業
- 2 会議の開催状況

公2 芸術文化会館・音楽文化会館・県民会館事業

- 市民芸術文化会館及び音楽文化会館
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業
- 県民会館
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業

公3 歴史博物館等・旧小澤家住宅事業

- 歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業
- 市文化財旧小澤家住宅
 - 1 文化事業
 - 2 文化施設管理受託事業

(収益事業)

収1 付帯・施設貸与事業

- 1 付帯事業 (各施設)
- 2 施設貸与事業 (各施設)

事業報告の詳細については、次に記載のとおりです。

1 文化事業 67,967,399 円

「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援したほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施した。

(1) アーツカウンシル新潟の運営 57,021,513 円

東京 2020 大会に向けた文化プログラムの終了後の成果を見据え、市民の文化芸術活動の活性化を図るとともに、国際観光の振興や経済活動の推進につなげ、持続的な文化創造交流都市の推進体制を構築することを目的に、1.市民文化芸術活動支援、2.調査・研究、3.情報発信、4.企画立案の機能を有する専門人材による組織「アーツカウンシル新潟」の運営を行った。

【人員確保・人材育成】

○H28 年度 専門人材の募集・配置 [PD1 名、PO2 名、スタッフ（臨時）1 名]

・設立日 平成 28 年 9 月 26 日

○H29 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ（臨時）1 名]

○H30 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO4 名、スタッフ（臨時）1 名]

○R1 年度 専門人材の公募・選考 [PD1 名、PO5 名、スタッフ（臨時）1 名]

【環境整備】

○イオン電子マネー「にいがた BUNKA WAON」(ご当地 WAON カード)の販売促進(326,417 円の寄付を受領。)

① アーツカウンシル事業 (45,335,014)

【文化芸術活動の支援】

文化芸術等に関する市民団体等の相談窓口を通じて、企画、広報、財源確保策などの助言、支援を行った。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、昨年度に引き続き当財団が実施している既存の文化芸術活動支援助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援を行うとともに、平成 29 年度に新設した、基盤、仕組みづくり及び環境の創出をめざす取り組みに特化した助成事業である「文化芸術基盤整備促進支援事業」を引き続き実施し、募集・助言（相談）・審査・支援を行った。また、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行った。

加えて、東京 2020 大会に向けた文化プログラムである「beyond2020 プログラム」の認証団体として、事務手続きを担当し、市内の団体に対する助言（相談）・支援を行った。

○相談窓口の開設

- ・相談対応件数 165 件（68 団体等から）
- ・一般相談 24 件
- ・助成関連 141 件

- 既存助成事業の募集・助言（相談）・審査・支援
 - ・令和元年度助成事業の募集・審査・助言（相談）
（申請件数 17 件、採択件数 8 件、総額 217 万円）
- 文化芸術基盤整備促進支援事業の募集・助言（相談）・審査・支援
（申請件数 8 件、採択件数 7 件、総額 372 万円）
- 市や国、民間基金等が実施する助成制度を活用した支援
 - ・市民団体の助成原資確保に向けた（公財）麒麟福祉財団への助成金申請
（申請数 1 件、採択額 30 万円）
- beyond2020 プログラム認証事務（受付、審査等）
 - ・認証件数 118 件

【調査・研究】

- 現地視察及び支援を通じた市内文化芸術団体に係る実態調査
- 市関連部署との連携に向けた勉強会の開催（障がい福祉課、公民館）
- Noism 評価に向けた有識者ヒアリング
- あいちトリエンナーレ「表現の不自由」展 現地視察調査

【情報発信】

平成 30 年度に引き続き、東京 2020 大会に向けた新潟市における文化プログラムを効果的に発信するため、文化庁「文化情報プラットフォーム」と連携したホームページを構築・運営するとともに、アーツカウンシル新潟が行う支援情報のほか、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行うためのツールを運営した。

また、市民文化芸術活動団体の掘り起こしや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペースを活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を計 4 回開催した。

加えて、地域アーツカウンシルの設立を検討する自治体からの視察等について、積極的に受け入れを行った。

- アーツカウンシル新潟 公式ホームページの構築・運用
 - ・ 年間ビュー数：36,832 ビュー
- アーツカウンシル新潟 SNS の運用
 - ・ facebook ページ：投稿件数（4 月 1 日～3 月 31 日）：82 件、ページいいね数：554 件、ページフォロワー数：73 件
 - ・ twitter 及び Instagram のページ開設、運用を行った。
- 文化プログラムネットワークメールの運用
 - ・ 主な配信内容：beyond2020 認証事業の紹介、アーツカウンシル新潟主催イベントの紹介
 - ・ 配信回数（4 月 1 日～3 月 31 日）：10 件、登録件数：88 件
- 文化情報スペースの開設・運営
 - ・ アーツカウンシル新潟の事務室に、市民が気軽に文化芸術に関する情報を収集、相談することのできる文化情報スペースとして平成 28 年度に開設したスペースを運営し、

文化情報蓄積等に資するネットワーク形成を図った。

- ・ 文化情報スペース利用状況 135回／年

○ゲスト講師を交えた交流企画「語りの場」の開催

- ・ 実施回数：計4回、参加93人

第1回 劇場・コンサートホールと私たちの距離 小倉由佳子 [6月26日、9人]

第2回 都市デザインとクリエイティブシティ 仲原正治 [10月2日、24人]

第3回 “できること”からはじまる表現 福森伸 [1月18日、42人]

第4回 “じゃばら手帳”で企画を育てる 宮城潤 [2月22日、18人]

※講師敬称略

○視察受入実績

- ・ 受入自治体・機関数：6自治体・機関（市及びAC新潟受入数 合計）
- ・ 受入自治体・機関名：九州大学、酒田市、港区、宇都宮市、名古屋市議会、堺市

【企画・立案】

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行ったほか、障がい福祉課、公民館等と連携し、市職員向けの勉強会を開催した。また、新潟市文化創造交流都市ビジョンの成果検証の方法に関して助言を行うとともに、文化創造推進委員会を開催し、それぞれ事業の成果（アウトカム）及び指標について検討を行った。

また、市主催事業に対して、専門人材として各種支援を行った。

- 行政関係からの相談件数 40件
- 文化創造交流都市ビジョン成果検証（助言）
- 市文化事業の評価提言（Noism、水土市民プロジェクト）
- 障がい者アート支援とアール・ブリュットの展開事業 協力
- 市国文祭・障文祭実行委員会アドバイザー就任（杉浦）
- 秋葉区文化会館運営委員（福島）、北区文化会館指定管理者審査委員（杉浦）
- ゆいぽーとアーティスト・イン・レジデンス事業選定委員会委員（作家選定）（杉浦）
- ワールドダンスコンペティション審査員（福島） ほか

② 文化庁他、委託・補助事業関連（11,686,499）

- 文化庁「令和元年度文化芸術創造都市推進事業」
 - ・ 文化庁による地方公共団体などが加盟する文化芸術創造都市ネットワーク（CCNJ）の事務局運營業務。「総会・幹事会」「創造都市政策セミナー」「専門部会」（現代芸術の国際展部会）「創造農村ワークショップ」及び各地域ブロックでの「分科会」を開催した。
- 「第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」エリアコア事業のコーディネーター業務
 - ・ 「新潟・阿賀エリア」及び「佐渡エリア」の助言、コーディネート業務を行った。
 - ・ アーツカウンシルネットワークミーティング（AC-net）に関する運營業務
 - ・ 独立行政法人日本芸術文化振興会（日本版アーツカウンシル）が主催する全国の地域アーツカウンシルの連携組織であるAC-netの運營業務を受託するとともに、幹事団体に就任した（他は大分県、横浜市）。

(2) 支援助成事業 2,413,716 円

市民の自主的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を3回に分け、上限50万円で助成金を交付した。(助成対象事業は審査会に諮って決定)

期 別	事 業 実 施 期 間	申 請 件 数	交 付 件 数	交 付 決 定 金 額
平成31年度 第1回	平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで	6件	2件	700,000円
令和元年度 第2回	令和元年7月1日から 令和2年3月31日まで	11件	6件	1,900,000円
合 計		17件	8件	2,600,000円

(3) 坂口安吾顕彰事業 5,281,354 円

新潟市が管理する安吾 風の館（旧市長公舎）で下記展覧会を開催したほか、「坂口安吾デジタルミュージアム（HP）」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭、小中学生の総合学習や新潟市が実施する動く市政教室、さわやかトーク宅配便への協力等により安吾の普及啓発に努めた。また、引き続き関係資料の調査研究を行った。

2月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の全国的拡大により、市内文化スポーツ施設では、団体見学中止、館内及び展示解説等事業イベントの多くが中止となり、あわせて外出自粛により、特に県外市外からの入館者数には大きな影響があった。

・「自筆原稿から読みとく『火』、『信長』の原稿一」展

開催日 平成31年4月6日～令和元年7月21日（77日間）

内 容 作家が作品執筆前に作成する制作ノートやメモ、未定稿などは、制作過程や作品に込めた作家の意図を知る大きな手がかりでもある。1949年発表長編「火第一章」、1952～53年新聞「新大阪」に発表された「信長」をとりあげて、安吾が作成した多くの下書きノート、構想メモ、練り直しや修正のため書き直された未定稿原稿などを通して、一つの作品が出来上がるまでの過程を紹介した。

入場者 1,483人

・「安吾をめぐる人々VI 檀一雄」展

開催日 令和元年8月3日～11月24日（81日間）

内 容 檀一雄（1912-1976）は、安吾より6歳下であるが、「檀君」「安吾さん」と呼び合い、生涯を通じて深く信頼し合い、交流を続けた友である。安吾は檀に無防備なくらい身を預け、檀はそれを受け止め、安吾を敬愛していた。

檀一雄は安吾について、実に多くのことを語り、文章に残している。また安吾没後もたびたび新潟を訪れ、県内各地にその足跡が残り、秋葉区や胎内市には碑がある。出身でも、作品の舞台でもない地に碑があるのは珍しい。

安吾と檀、檀と新潟の交流を紹介した。檀一雄の未発表の原稿が発見されるなど、檀一雄研究の一助ともなり、関心を集めた。

入場者 1,713人

・「安吾って!?! Part2」展

開催日 令和元年12月7日～令和2年3月22日 (73日間)

内容 昨年度より冬季には、企画展でのテーマ別ではなく、「坂口安吾」という大きなくくりで紹介する展示を行っているが、その2回目。

ペンネームの由来や少年時代のエピソードなどをコラム形式で紹介。亡くなる直前まで愛用していたステッキや旅行鞆などの遺愛の品々も展示。

安吾自筆原稿として、「肝臓先生」、「『歌笑』文化」、「街はふるさと」を紹介。初版本、最近発刊された春陽堂の各シリーズや安吾作品が原作の漫画本など、書店や図書館で手に取りやすい文庫や著作、安吾関連の最新情報も紹介した。

晩年生まれたばかりの息子をあやす写真や遅く生まれた我が子への思いを綴った文や子供の名前の由来を記した「命名の書」など、父親・安吾についての紹介は好評であった。

入場者 848人

(4) 共催事業 3,150,978円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出した。

- ・第33回新潟市伝承芸能保存会 郷土芸能公演「郷芸」 (300,000)

開催日 令和元年10月20日 入場者 168人

- ・2019にいがた総おどり祭(下駄総踊り) (1,000,000)

開催日 令和元年9月14日～16日 来場者 199,820人

- ・第67回新潟市芸能まつり (1,500,000)

開催日 令和元年10月6日～令和2年1月19日 入場者 15,012人

- ・第51回新潟市美術展 (350,000)

開催日 前期：令和元年10月9日～13日／後期：令和元年10月16日～20日

入場者 4,255人

(5) 表彰顕彰事業 99,438円

新潟市で開催される公募展に財団賞を交付し、底辺の拡大を図った。

- ・新潟市美術展 6部門
- ・アークベル県民アマチュア絵画展 2部門
- ・新潟県工芸会展 1部門
- ・二科新潟展 1部門

(6) 芸術家支援事業 400円

新潟市が実施する下記の芸術家支援制度について、広報、申請受付、融資金の振込などの事務を受託した。

- ・助成金等内定者資金融資制度

融資件数 0件 融資金額 0円

2 会議の開催状況

(1) 評議員会

- ① 第1回（定時） 令和元年6月6日
 - ・平成30年度事業報告及び決算について
 - ・理事の補欠選任について
- ② 第2回 令和2年3月30日【書面】
 - ・評議員の辞任に伴う補欠選任について
 - ・理事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

- ① 第1回 平成31年4月1日【書面】
 - ・常務理事の選定について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ② 第2回 令和元年5月21日
 - ・アーツカウンシル新潟「自主文化事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・元号を改める政令制定に伴う関係規程の一部を改正する規程の制定について
 - ・平成30年度事業報告及び決算について
 - ・定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）
- ③ 第3回 令和元年6月6日【書面】
 - ・常務理事の選定について
 - ・常勤役員の報酬等の金額について
- ④ 第4回 令和2年3月25日
 - ・令和元年度補正予算について
 - ・規則、規程の一部改正（職員就業規則、嘱託職員就業規則、臨時職員就業規則、給与規程、新潟市民芸術文化会館「自主文化事業」特定費用準備資金取扱規程）について
 - ・新潟市民芸術文化会館「芸術の未来プロジェクト」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・新潟市民芸術文化会館「施設管理事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・新潟市音楽文化会館「施設管理事業」特定費用準備資金取扱規程の制定について
 - ・令和2年度事業計画及び予算について
 - ・専務理事の選定について
 - ・第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
 - ・財団事務所の移転について（報告）
 - ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について（報告）

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館 1,236,828,999 円

1 文化事業 507,161,951 円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館、県民会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行った。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図った。

なお、幾つかの事業において、新型コロナウイルスの拡大リスク低減及び感染拡大防止の観点から事業実施の中止・延期を行い、安全安心の事業運営に努めた。

(1) 音楽事業 167,978,960 円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広いプログラム内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会や、音楽愛好者拡大のための演奏会、さらにオルガンの活用事業、音楽文化会館でのコンサートなど多彩な演奏会を開催することにより、聴衆の水準を高めるとともにその拡大に努めた。

また、各種講座の開催や普及プログラムにより市民の音楽活動の底辺の拡大や、ジュニアの育成の強化を図った。

① 鑑賞事業 (113,286,473)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第 113 回	令和元年 5 月 26 日(日)	～ショスタコーヴィチ：交響曲第 5 番～
第 114 回	令和元年 7 月 14 日(日)	～ドヴォルザーク：交響曲第 7 番～
第 115 回	令和元年 9 月 15 日(日)	～ブラームス：交響曲第 3 番～
第 116 回	令和元年 10 月 20 日(日)	～管楽器特集～
第 117 回	令和元年 12 月 1 日(日)	～ショパン：ピアノ協奏曲第 1 番～
第 118 回	令和 2 年 3 月 29 日(日)	(新型コロナウイルスにより中止)

・東響定期+α 室内楽シリーズ No.36

5 台ピアノ・コンサート 令和元年 5 月 12 日(日)

・東響定期+α ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 令和元年 7 月 3 日(水)

・東響定期+α 器楽リサイタルシリーズ No.8

ゲイリー・カー コントラバス・リサイタル 令和元年 11 月 21 日(木)

ー室内楽シリーズー

・No.34 宮川彬良&アンサンブル・ベガ 平成 31 年 4 月 27 日(土・祝)

・No.35 鈴木大介&大萩康司ギター・デュオ 平成 31 年 4 月 28 日(日)

・No.37 細川千尋トリオ 令和元年 12 月 20 日(金)

ー器楽リサイタルシリーズー

- ・No.6 マチュー・デュフォー フルート・リサイタル 令和元年 7月 27日(土)
- ・No.7 グザヴィエ・ドゥ・メストレ ハープ・リサイタル 令和元年 10月 4日(金)

ーピアノリサイタルシリーズー

- ・No.38 ジャン・チャクムル 令和元年 8月 1日(木)
- ・No.39 エリック・ル・サージュ 令和元年 9月 26日(木)

ーオルガンシリーズー

- ・ファン・デ・ラ・ルビア リサイタル 令和元年 6月 1日(土)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.26 令和元年 12月 14日(土)
- ・山本真希リサイタルシリーズ No.27 令和 2年 3月 15日(日)
(新型コロナウイルスにより延期)

ー音文レジェンドシリーズー

- ・No.1 荘村清志ギター・リサイタル 令和 2年 3月 1日(日)
(新型コロナウイルスにより延期)
- ・No.2 徳永二男ヴァイオリン・リサイタル 令和 2年 3月 8日(日)
(新型コロナウイルスにより延期)

ーホール体験事業ー

- ・1 コインコンサート
 - Vol 100 「ピアノ」 4公演 令和元年 5月 11日(土)
 - Vol.101 「オーボエ」 令和元年 6月 21日(金)
 - Vol.102 「トロンボーン」 令和元年 7月 17日(水)
 - Vol.103 「オルガン」 令和元年 9月 6日(金)
 - Vol.104 「ヴァイオリン」 令和元年 10月 9日(水)
 - Vol.105 「ギター」 令和元年 11月 28日(木)

ーその他ー

- ・茂木大輔のオーケストラコンサート No.14 令和元年 9月 1日(日)
- ・オペラシアターこんにゃく座 令和元年 12月 22日(日)
- ・バレンタインコンサート トグマ室内オーケストラ 令和 2年 2月 11日(火・祝)

② 育成・普及事業 (54,692,487)

ーオルガン事業ー

- ・オルガン普及プログラム
 - プレ講座 令和元年 5月 19日(日)
 - オルガン・サマーデイ 令和元年 8月 25日(日)
 - オルガン・ニューイヤー 令和 2年 1月 4日(土)～5日(日)
 - ポジティブオルガン演奏コースⅠ 令和元年 5月 28日(火)～7月 9日(火)
 - ポジティブオルガン演奏コースⅡ 令和元年 9月 3日(火)～11月 26日(火)
 - 大オルガン演奏コース 平成 31年 4月 24日(火)～令和 2年 3月 1日(日)

ー市民参加合唱団ー

- ・にいがた東響コーラス 令和元年5月28日(火)～令和2年2月26日(水)
(これ以後の活動は新型コロナウイルスにより中止)

ージュニア等育成事業ー

- ・ジュニアオーケストラ教室育成事業
 - 第38回演奏会 令和元年9月8日(日)
 - ニューイヤー・コンサート 令和2年1月13日(月・祝)
- ・全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会
 - 第34回幹事会 令和元年5月25日(土)浜松市
 - 第35回幹事会 令和元年7月10日(水)浜松市
 - 第36回幹事会 令和元年10月23日(水)～24日(木)岡山市
 - ジュニアオーケストラ・フェスティバル2019 令和元年8月18日(日)浜松市
- ・ジュニア合唱団育成事業
 - 第29回定期演奏会 令和元年7月21日(日)
 - 第42回新潟県少年少女合唱団合同演奏会 令和元年8月18日(日)長岡市
 - クリスマスコンサート 令和元年12月15日(日)音文
 - にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2020 令和2年2月2日(日)
- ・ジュニア邦楽合奏教室育成事業
 - 和楽器わくわく体験デイ 令和元年8月24日(土)
 - 第24回定期演奏会 令和元年8月4日(日)
- ・ジュニア音楽教室第16回スプリングコンサート 令和2年3月28日(土)
(新型コロナウイルスにより中止)

ーその他ー

- ・東京交響楽団学校訪問 60校 令和元年6月12日(水)～15日(土)
- ・オーケストラはキミのともだち 令和元年8月10日(土)
- ・避難訓練コンサート 令和元年10月28日(月)
- ・りゅーとぴあアウトリーチ事業
 - ジョイント・コンサート 令和2年3月7日(土)
(新型コロナウイルスにより延期)
 - アウトリーチ(市内小学校ほか)全26回 令和元年9月13日(金)～12月9日(月)
- ・大学生アーツ・マネジメント研修 令和元年8月23日(金)～26日(月)
- ・コンサートホール企画連絡会議 令和元年7月29日(月)～30日(水)京都市
令和2年2月17日(月)～18日(火)所沢市

(2) 演劇事業 152,415,304 円

多様な専門機能を持つ劇場と伝統様式の能楽堂を活用し、公共の劇場や製作会社が製作した作品及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能などの様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指した。りゅーとぴあプロデュース「イン・ザ・プール」の企画により新潟発のオリジナル作品を創造し、全国に向けて発信した。

また、普及事業として60歳以上のシニア世代の方々を対象とした演劇ワークショップと発

表公演「臉の母」の実施、シニア世代の演劇との新たな接点を設けた。育成事業では「演劇スタジオ APRICOT」を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育み、広く演劇活動の振興を図った。

① 鑑賞事業 (78,979,533)

- ・東宝・りゅーとぴあ共同製作「十二番目の天使」 2回公演 平成31年4月6日(土)～7日(日)
- ・「キネマと恋人」 3回公演 令和元年7月26日(金)～28日(日)
- ・「お気に召すまま」 2回公演 令和元年8月31日(土)～9月1日(日)
- ・「第三十一回ふるまち新潟をどり」 2回公演 令和元年9月8日(日)
- ・NE/ST公演 劇団チョコレートケーキ「治天ノ君」 1回公演 令和元年9月18日(水)
- ・「最貧前線」 2回公演 令和元年9月28日(土)～29日(日)
- ・「仮面山荘殺人事件」 1回公演 令和元年10月19日(土)
- ・「終わりのない」 1回 令和元年11月30日(土)
- ・「常陸坊海尊」 1回公演 令和2年1月25日(土)
- ・水都寄席「第21回 春風亭小朝独演会」 1回公演 令和2年3月8日(日)
(新型コロナウイルスにより中止)

② 育成・普及事業 (15,102,769)

- ・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT 通年(発表公演:夏季/アトリチ/春季)
APRICOT2018 夏季公演「リフカの旅」 4回公演 令和元年8月10日(土)～12日(月)
APRICOT2019 春季公演 スタジオトライアル公演「チョコレート・アンダーグラウンド」
6回公演 3/20(金)～22(日) (新型コロナウイルスにより中止)
APRICOT みんなのえんげきワークショップ in 南区 2回 令和2年1月11日(土)～12日(日)
APRICOT 演劇体験ワークショップ 1回 令和元年8月24日(土)
(令和2年3月の実施予定は新型コロナウイルスにより中止)
- ・60歳以上 笹部博司のりゅーとぴあ演劇ワークショップ 12回 令和元年7月～12月
発表公演「臉の母」 4回公演 令和2年1月18日(土)・19日(日)・25日(土)

③ 新潟発創造事業 (58,333,002)

- ・りゅーとぴあプロデュース「イン・ザ・プール」
新潟公演 1回公演 令和元年6月29日(土)
姫路公演) 1回公演 7月7日(日) [受託公演] 会場: 姫路キャスパホール
東京公演) 6回公演 7月11日(木)～15日(月) 会場: あうるすぽっと
兵庫公演) 2回公演 7月25日(木)～26日(金) [受託公演]
会場: 兵庫県立芸術文化センター・阪急中ホール
加東公演) 1回公演 7月27日(土) [受託公演] 会場: 加東市滝野文化会館ホール
- ・りゅーとぴあ・東京芸術劇場共同企画「エブリ・ブリリアント・シング」 3回公演
令和2年2月8日(土)・9日(日)・11日(火)

[以下、各公演開催者の主催公演]

- 東京公演) 11回公演 1月25日(土)～2月5日(水) 会場: 東京芸術劇場
- 松本公演) 2回公演 2月15日(土)～16日(日) 会場: まつもと市民芸術館
- 名古屋公演) 2回公演 2月18日(火)～19日(水) 会場: 千種文化小劇場

大阪茨木公演 2回公演 2月22日(土)~23日(日) 会場：茨木市市民総合センター
 高知公演 2回公演 2月29日(土)~3月1日(日) 会場：高知市文化プラザかるぼーと
 (新型コロナウイルスにより中止)

(3) 能楽事業 18,407,509 円

伝統様式に則った本格的な能舞台の特性を活用し、子どもから一般までを対象とした鑑賞公演と、能狂言に対する基礎的な知識や興味を高める能楽講座、ワークショップ等を開催した。

また、子どもたちを対象としたお囃子と狂言のワークショップやアウトリーチ事業の能楽体験教室を開催して若年層への能楽普及を図った。

① 鑑賞事業 (14,438,058)

- ・春の能楽鑑賞会「歌占」(観世流) 1回公演 平成31年4月21日(日)
 - ・秋の能楽鑑賞会「張良」(宝生流) 1回公演 令和元年10月26日(土)
 - ・野村万作萬斎狂言公演 2回公演 令和元年12月21日(土)
 - ・能楽堂で楽しむ 令和の春 1回公演 令和2年2月24日(月)
 - ・新作能「利休」 1回公演 令和2年3月14日(土)
- (新型コロナウイルスにより中止)

② 育成・普及事業 (3,969,451)

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く能の楽しみ」3回 令和元年5月21日(火)、8月18日(日)
令和2年1月26日(日)
- ・「能楽おとな講座」 3回 令和元年6月25日(火)、7月11日(木)、8月3日(土)
- ・「能楽こども教室」 1回 令和元年8月3日(土)
- ・「さわってみよう能の世界」 1回 令和元年11月4日(月)
- ・能楽ワークショップ[囃子](能楽堂・市内小中学校) 令和元年6月18日(火)、19日(水)
- ・能楽ワークショップ[謡](市内小学校) 令和元年6月25日(火)、26日(水)
7月11日(木)、12日(金)
- ・能楽ワークショップ[狂言](能楽堂・市内小学校) 令和2年2月17日(月)、18日(火)

(4) 舞踊事業 119,509,308 円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーNoismの活動を通して、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信し舞台芸術の振興を図った。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育んだ。また、新潟市などとの協働・連携や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することから、全市的及び国内における拠点施設としての地位と役割を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上に努めた。

① 新潟発創造事業

- ・りゅーとぴあ レジデンシャル・ダンス・カンパニー Noism 運営事業
(公演事業)
- ・Noism15周年記念公演
Noism1『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』/『Fratres I』

- 新潟公演 3回公演 令和元年7月19日(金)～21日(日)
 東京公演 3回公演 令和元年7月26日(金)～28日(日)
- ・Noism1+Noism0 森優貴／金森穰 Double Bill
 新潟公演 3回公演 令和元年12月13日(金)～15日(日)
 埼玉公演 3回公演 令和2年1月17日(金)～19日(日)
- ・Noism2 定期公演 vol.11 新潟公演 5回公演
 新型コロナ対応により当初予定の令和2年3月6日(金)～8日(日) 5回公演を延期
 (令和2年7月10日(金)～12日(日) 4回公演として実施予定)

(その他受託事業)

- ・Noism2 『BOW!!!』/Noism レパートリー 『solo for 2』『Training Piece』 札幌公演
 主催：札幌文化芸術劇場 hitaru (札幌市芸術文化財団)
 会場：札幌文化芸術劇場 hitaru 〈クリエイティブスタジオ〉
 2回公演 平成31年4月19日(金)～20日(土)
- ・Noism1&Noism2 劇的舞踊 『カルメン』 モスクワ公演
 主催：Chekhov International Theatre Festival 会場：Helikon Opera
 3回公演 令和元年5月29日(水)～31日(金)
- ・「国民文化祭・にいがた 2019」「全国障害者芸術・文化祭にいがた大会」開会式
 出演：Noism0
 主催：第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化芸術祭新潟実行委員会
 会場：朱鷺メッセ 展示ホール 〈ウェーブマーケット〉 令和元年9月16日(月・祝)
- ・〈第9回シアター・オリンピックス〉 Noism0 『still / speed / silence』
 主催：(公財) 舞台芸術財団演劇人会議、シアター・オリンピックス 2019 実行委員会、
 文化庁、富山県、SCOT
 会場：富山県利賀芸術公園 〈利賀山房〉 2回公演 令和元年9月20日(金)・22日(日)
- ・〈BeSeTo 演劇祭〉 『Mirroring Memories—それは尊き光のごとく』 鳥取公演
 主催：日本 BeSeTo 委員会、(公財) 舞台芸術財団演劇人会議 会場：小鷲河体育館
 2回公演 令和元年11月9日(土)～10日(日)

② 普及事業

- ・「柳都会」第21回 森優貴×金森穰 (スタジオB) 令和元年9月29日(日)
- ・Noism サマースクール(スタジオB) 令和元年7月31日(水)～8月4日(日)
- ・Noism ワンデイスクール (スタジオB) 令和元年12月17日(火)
- ・視覚障がい者のためのからだワークショップ (スタジオB) 令和元年12月18日(水)
- ・新潟市洋舞踊協会記念合同公演にむけたワークショップ (スタジオB)
 令和元年12月19日(木)

(5) 共催事業 1,373,233 円

芸術団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と芸術文化の振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行った。

また、4/27～5/5 に開催された「春の新潟・音楽ウィーク 2019」では、新潟市などで構成さ

れる音楽祭実行委員会に財団も参加し、主催事業との連動することで広範な集客を図った。

- ・春の新潟・音楽ウィーク 2019 平成 31 年 4 月 27 日(土)～5 月 5 日(日)
- ・「ジブリの思い出がいっぱい」 令和 2 年 6 月 22 日(土)
- ・海上自衛隊東京音楽隊コンサート 令和 2 年 9 月 25 日(水)
- ・デーモン閣下の邦楽維新 令和 2 年 10 月 3 日(木)
- ・前橋汀子ヴァイオリンリサイタル 令和 2 年 10 月 5 日(土)
- ・ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団 令和 2 年 11 月 1 日(金)
- ・プレミアムコンサート 2019 令和 2 年 11 月 3 日(日)
- ・琉球芸能の美と心～組踊「執心鐘入り」との交感 令和元年 11 月 6 日(水)
- ・第 67 回新潟市芸能まつり 令和元年 10 月 6 日(日)～令和 2 年 1 月 19 日(日)
- ・「第 16 回劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合」 令和 2 年 1 月 11 日(土)
- ・第 14 回春季全国高等学校演劇研究会 令和 2 年 3 月 20 日(金)～22 日(日)
(新型コロナウイルスにより中止)

(6) 広報営業事業 15, 413, 448 円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保並びに企業協賛の募集など、広報・営業活動を効果的に展開し、合わせて上質な施設機能を広くアピールして、会館の知名度の拡大と利用促進を図った。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の 3 館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高めるよう情報の発信に努めた。

- ・ 広報・営業事業
- ・ 音楽広報事業
- ・ 演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 850, 005 円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努めた。

(8) 事業企画諸費 12, 960, 942 円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を外に発信した。

- ・ 芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・ 専属オルガニスト
- ・ 演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費 18, 253, 242 円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努めた。

2 文化施設管理受託事業 729, 667, 048 円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 629, 078, 953 円

平成 10 年 10 月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和元年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行った。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

※ 令和元年度市民芸術文化会館入館者数 313, 095 人

(2) 音楽文化会館管理事業 100, 588, 095 円

昭和 52 年 11 月に開館した音楽文化会館は、13 の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成 10 年度より当財団がその管理を受託している。

令和元年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行った。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

※ 令和元年度音楽文化会館入館者数 68, 106 人

1 文化事業 14, 546, 384 円

大小の専門ホールなどの諸施設を活用した、大規模で質の高い、多様な鑑賞事業を展開するとともに、芸術の普及と県内の文化を担う人材の育成を図るための事業を実施した。

また 27 年度より開始した、チケット販売システムや広報媒体について、市民芸術文化会館との共用を開始し、利用者の利便性の向上と事業の広大・促進を図った。

なお、新型コロナウイルスの影響により、年度終盤のイベントが中止になり、来館者数や使用料に大幅な落ち込みがあった。

(1) 歌舞伎事業

- ・歌舞伎プレセミナー 令和元年 6 月 30 日 (日)
- ・松竹大歌舞伎 2 回公演 令和元年 7 月 17 日 (水)

(2) 舞踏事業

- ・新潟ダンスの祭典 (高校ダンス) 1 回公演 令和元年 11 月 17 日 (日)

(3) ミュージカル事業

- ・劇団四季「エビータ」 1 回公演 令和元年 9 月 28 日 (土)
- ・劇団四季「こころの劇場」 2 回公演 令和元年 10 月 15 日 (火)・16 日 (水)
- ・宝塚歌劇「雪組全国ツアー」 2 回公演 令和元年 10 月 22 日 (火・祝)

(4) 音楽事業

- ・中澤卓也コンサート 2 回公演 令和元年 4 月 14 日 (日)
- ・エイミー・ハナイアライ (ハワイアン&フラ) 1 回公演 令和元年 6 月 5 日 (水)
- ・トリエステ・ヴェルディ歌劇場「椿姫」 1 回公演 令和元年 11 月 6 日 (水)
- ・鼓童「道 ワン・アース・ツアー2019」 1 回公演 令和元年 12 月 1 日 (日)

(5) 普及事業

- ・スタインウェイピアノを弾こう！ 令和 2 年 1 月 19 日 (日)
- ・出張！たたこう館 ～ 親子で太鼓体験 令和 2 年 3 月 1 日 (日)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・アウトリーチ「太鼓体験 WS」 NO1・NO2 令和 2 年 3 月 2 日 (月)
(新型コロナウイルスにより中止)
- ・音楽アウトリーチ「春のジョイントコンサート」 令和 2 年 2 月 22 日 (土)

(6) 育成事業

- ・アート・プロデュース講座 令和 2 年 3 月 5 日 (木)
(新型コロナウイルスにより中止)

2 文化施設管理受託事業 134, 610, 518 円

県民会館管理事業

昭和 42 年 12 月に開館した新潟県民会館は、大小のホールと 2 つのギャラリー、4 つの会議室を中心に、コンサートや演劇、美術展、会議など幅広い用途で多くの方々に利用して頂いている。

平成 27 年度より当財団が県民会館の指定管理者となったが、これまで以上にお客様が安心かつ円滑に施設を利用して頂けるよう、上質なサービスの提供に努めるとともに、会館運営のさらなる効率化を図った。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設（会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等）の管理

※ 令和元年度新潟県民会館入館者数 271, 223 人

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 136,867,260 円

1 文化事業 11,624,923 円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月下旬から体験プログラムを中止した。また、3月に予定していた館長講座を4月以降の開催に延期した。

(1) 展示運営更新 82,080 円

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、7月・9月・1月の3回、展示替えした。

(2) 企画展示事業 6,916,265 円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「新潟市の文化財」

新潟市域に所在する指定文化財のうち、主に公的機関が管理するものの中から地域の特徴をあらわす資料をえらび、その歴史や魅力を紹介した。

開催期間 令和元年4月13日～6月16日 57日間

観覧者数 4,437人（うち有料観覧者 2,989人、無料観覧者 1,448人）

② 「開港場新潟」展

本年、新潟市は開港150年を迎えた。本展では、新潟開港が決定するまでの道のりや開港を迎えた当時の状況、その後の新潟の変化など、開港をめぐる新潟の歴史を紹介した。

開催期間 令和元年7月13日～8月25日 39日間

観覧者数 4,442人（うち有料観覧者 3,199人、無料観覧者 1,243人）

③ 第16回むかしのくらし展「布とむかしのくらし」

糸車のような布の生産に必要な道具や、洗濯板など関連する道具、白根しぼりのように新潟市に関係がある布などを紹介した。

開催期間 令和元年9月14日～12月8日 74日間

観覧者数 9,231人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「新潟市とスポーツ」というテーマで資料を紹介した。また、令和元年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和2年2月15日～3月22日 32日間

観覧者数 1,778人（無料観覧者）

(3) 教育普及事業 134,072 円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計 80 回実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小中学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生 1 名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全 9 回、古文書入門講座 全 4 回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、「春の税関まつり」(4/13)をはじめ、ボランティアによる自主事業を多数開催した。登録者数 111 人。

(4) 施設普及事業 2,535,338 円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3 回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町の PR を目的に以下の事業を企画・開催した。

堀とさくらのコンサート (4/14)、夕涼みコンサート (8/17)、みなと・しもまち・川まつり (8/25)

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・館長バスツアー「寺泊・海物語 寺泊から見る新潟の近代化」(6/16)・まちあるき「海風感じる新潟坂道あるき」(10/6)・館長講演会「博徒と抗争」(12/8)・学芸員による講座「美術を楽しむー行田魁庵」(2/11)を実施した。

(5) 調査研究事業 407,646 円

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

その他、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 16 号』にまとめた。

(6) 資料整理事業 396,778 円

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」 1,152,744 円

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」

明治元年の開港後、近代化の中で新潟がどのように移り変わってきたのか、その様子を地図と古写真によって視覚的にたどった。

※みなとの博物館ネットワーク・フォーラム助成事業

開催期間 令和元年12月21日～令和2年2月2日 32日間

観覧者数 1,971人（無料観覧者）

② 史楽講座

令和改元に関連し、「古代国書の魅力をさぐる-万葉集・日本書紀・竹取物語-」をテーマに全3回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全20回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り（会員40名）、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計10回実施した。

2 文化施設管理受託事業 125, 242, 337 円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

※ 令和元年度歴史博物館入館者数 91, 999 人

1 文化事業 1, 209, 007 円

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

年度末は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により来館者数が昨年度に比べて大幅に減少し、3月末に予定していたイベント「春の酒づくし」も中止となった。

(1) 常設展示・企画事業 301, 749 円

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「むかしの子ども服」展

小澤家ゆかりの子ども服を展示し、着るものの形からむかしの暮らしの一端を紹介した。

開催期間 平成31年4月6日(土)～4月21日(日)

観覧者数 414人(有料観覧者381人、無料観覧者33人)

② GW特別企画「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展

端午の節句に合わせて、節句飾りなど小澤家に伝わる品々を展示した。

開催期間 平成31年4月27日(土)～令和元年5月19日(日)

観覧者数 1,490人(有料観覧者1,332人、無料観覧者158人)

③ 「屏風と掛け軸」展

旧小澤家住宅の風合いにあった屏風と掛け軸を展示した。

開催期間 令和元年6月1日(土)～6月16日(日)

観覧者数 475人(有料観覧者459人、無料観覧者16人)

④ 「東日本大震災と海のゴミ」展

防災意識及び海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ごみについてのパネルを展示した。また、市内でビーチコーミングをされている方より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。

協力：一般社団法人 JEAN

開催期間 令和元年7月6日(土)～7月15日(月)

観覧者数 439人(有料観覧者389人、無料観覧者50人)

⑤ 「二代目小澤七三郎と旅行」展

夏休みの旅行シーズンにあわせて、二代目小澤七三郎の旅先での思い出をとりあげた。

開催期間 令和元年7月27日(土)～9月1日(日)

観覧者数 955人(有料観覧者832人、無料観覧者123人)

⑥ 「ふろしき」展

小澤家に伝わる古いふろしき、日本各地の伝統のふろしき、新潟の織物などを館内のし

つらいに合わせて展示した。

9月14日(土)から29日(日)まで、歴史博物館の企画展「布とむかしの暮らし」展にあわせて、旧小澤家住宅と歴史博物館のセット券購入者に、小須戸縞で作ったブックマークと、ふろしきの活用方法を書いたしおりをプレゼントした。

協力：ふろしきや

開催期間 令和元年9月7日(土)～9月29日(金)

観覧者数 988人(有料観覧者929人、無料観覧者59人)

⑦ 「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展

新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。

新潟県内の手漉き和紙と、それを使った作品も展示した。

共催：新潟仏壇組合・越後生紙振興会

開催期間 令和元年10月22日(火)～11月10日(日)

観覧者数 1,249人(有料観覧者588人、無料観覧者661人)

⑧ ボランティア企画「小澤家の人びと」展

旧小澤家住宅のガイドボランティアによる企画展。小澤家の人びとをテーマに、歴史や魅力を紹介した。

開催期間 令和元年11月23日(土)～令和2年2月2日(日)

観覧者数 1,433人(有料観覧者1,271人、無料観覧者162人)

⑨ 「昔のポスター」展

新潟ハイカラ文庫より借用した昔のポスターを展示した。

協力：新潟ハイカラ文庫

開催期間 令和元年12月21日(土)～令和2年1月22日(水)

観覧者数 452人(有料観覧者418人、無料観覧者34人)

⑩ 「ひな人形とからくり人形」展

新潟島の主な文化施設などと共同で実施する雛人形・町めぐり企画に併せて開催した。

当館所蔵の雛人形や新潟ハイカラ文庫所蔵のからくり人形などを展示した。

共催：新潟ハイカラ文庫

開催期間 令和2年2月22日(土)～3月22日(日)

観覧者数 596人(有料観覧者518人、無料観覧者78人)

(2) 教育普及事業 258,726円

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① 掛け軸講座・・・6月8日(土)

専門家を講師に招いて、掛け軸の取り扱い方について学んだ。

② 大徳寺真珠庵襖絵 トークイベント・・・6月16日(日)

大徳寺真珠庵の住職によるトークイベントと座禅体験を開催した。

③ 庭園講習会・・・6月29日(土)、11月2日(土)

夏場と冬場に向けた庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

④ 立川志の彦 落語会・・・7月20日(土)

落語家による親子向けと一般向けの落語会を開催した。

- ⑤ 「旧小澤家住宅に泊まろう！」・・・8月4日(日)、5日(月)
近隣小学校の児童を対象に、かつての生活様式(蚊帳つり、銭湯、御膳)の一端を学び取ってもらう事を目的に開催した。
- ⑥ 秋の酒づくし・・・9月7日(土)、8日(日)
市内の酒屋や飲食店の経営者および当館学芸員を講師に、日本だけでなく世界の酒についてのおつまみ付き講座を開いた。
- ⑦ ふろしき講座・・・9月14日(土)、15日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。
- ⑧ 新潟ふろしきと佐渡おけさ踊り隊・・・9月16日(月)
「ふろしき」展の関連企画として、新潟まつりの「佐渡おけさ踊り隊」の指導による、佐渡おけさワークショップを行った。新潟ふろしきで作った浴衣も披露した。
- ⑨ 壺八家五円 落語口演「風呂敷」・・・9月22日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、落語家による落語「風呂敷」の口演会を行った。
- ⑩ 新潟仏壇工芸・越後生紙ワークショップ・・・10月26日(土)、27日(日)、
11月2日(土)、3日(日)、4日(月)、9日(土)、10日(日)
「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、それぞれの職人によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗、青写真作り、和紙折染め・六角提灯作り)を開催した。
伝統工芸士による蒔絵実演も行った。
- ⑪ フラワーアレンジメント「テーブルにかざる小さなクリスマスツリー」
・・・12月8日(日)
クリスマス用のテーブルアレンジメントの製作体験を行った。
- ⑫ お正月の玄関飾り・・・12月14日(土)
お正月に玄関に置けるまゆ玉飾りの製作体験を行った。
- ⑬ 稲穂で作る正月飾り・・・12月15日(日)
稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。
- ⑭ 百人一首大会・・・2月19日(水)
日和山小学校の4年生を招いて百人一首のかるた取り大会を開催した。
- ⑮ 稲わらでつくるひな人形・・・2月22日(土)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催した。
- ⑯ フラワーアレンジメントワンディレッション・・・2月23日(日)
「ひな人形とからくり人形」展および「花で彩る」の関連企画として、ひなまつりをイメージしたフラワーアレンジメントの製作体験を開催した。
- ⑰ 江戸「からくり人形」実演会・・・2月29日(土)、3月1日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、江戸時代から伝わる技術で作ったからくり人形を紹介した。
- ⑱ ボランティアガイド事業
旧小澤家住宅のボランティアガイドによる勉強会を8回実施すると共に、ボランティア企画展「小澤家の人びと」展を開催した。

(3) 施設普及事業 618,084 円

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月11日(土)～21日(火)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

② 藤見煎茶会・・・5月11日(土)

藤の花の咲く季節に合わせ、藤ノ間において煎茶会（煎茶道東阿部流）を開催した。

③ 夏至祭・・・6月22日(土)、23日(日)

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて音楽や飲食を提供した。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

非公開部分（離れ座敷、奥座敷二階）の公開、庭園のライトアップ（22日20時まで）

④ 湊下町展「町灯篇」・・・11月16日(土)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」との共催で開催を20時まで延長し、周辺のライトアップを行った。

また、来館者へは煎茶道東阿部流の協力による抹茶販売を行った。

⑤ 秋の大文化祭・・・11月23日(土)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、文化祭を開催して音楽や飲食を提供した。

非公開部分（離れ座敷、奥座敷二階）の公開、庭園のライトアップ（20時まで）

⑥ 年忘れ煎茶会・・・12月21日(土)

年末の煎茶会（煎茶道東阿部流）を開催した。

⑦ 花で彩る・・・2月15日(土)～24日(月)

ひなまつりをテーマに、館内にフラワーアレンジメントを展示した。

⑧ 小澤家ごっつおブランチ・・・2月15日(土)

小澤家住宅の雰囲気と、新潟らしい食事、旧小澤家住宅周辺で買える新鮮な食材を楽しんでもらうため、食事会を開催した。

今回は器をテーマに、当館学芸員による講演も行った。

⑨ 箏の演奏会・・・2月24日(月)

旧小澤家住宅の春の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。

(4) 調査研究事業 1,572 円

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展、「小澤家の人びと」展で紹介した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業 28,876 円

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業 13, 934, 682 円

旧小澤家住宅管理事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和元年度旧小澤家住宅入館者数 15, 603 人

1 付帯事業 32, 903, 333 円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 30, 703, 595 円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 221, 850 円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努めた。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 新潟県民会館付帯事業 29, 292 円

来館者へのサービスをより充実させるため、鑑賞用グッズの販売や他館で開催される催し物チケットの受託販売、各種自動販売機の設置などを実施した。

- ① 貸館公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 849, 637 円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 98, 959 円

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、布製バッグなどを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐいなどの開発・販売にも力を入れ、令和元年度からはTシャツとトートバッグの販売を始めた。また、開館当初から販売しているオリジナル絵はがきのデザインも一新した。

2 施設貸与事業 180,905,301 円

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行った。

- | | |
|------------|--------------|
| ① 市民芸術文化会館 | (22,141,495) |
| ② 音楽文化会館 | (1,531,798) |
| ③ 県民会館 | (63,346,126) |
| ④ 歴史博物館 | (76,436,144) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (17,449,738) |

2 令和2年度事業計画

当財団は、新潟市民の芸術文化及び歴史文化の振興を図り、もって、自主的自発的な市民文化の創造に寄与することを目的とする公益財団法人として、新潟市において感動し驚きに出会い、そして共に生きる絆を創る人々の文化的プラットフォームの構築に寄与し続けるための事業展開に努めます。

令和2年度は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、多くの外国人の訪日が見込まれ、日本の芸術文化・歴史文化の魅力を発信する良い機会であり、新潟市の魅力を全国世界の皆さんから楽しんでいただくための事業を実施します。

財団運営では、新潟市の財政状況が厳しく、3年間の集中改革期間中であり、これを機に引き続き財団の事業の点検・見直しを含めた財団改革の取り組みを進めます。

公1 事務局事業

62,569 千円

文化事業 62,569 千円

平成28年9月に設立した「アーツカウンシル新潟」の運営を通じ、市民の自主的な文化芸術活動を支援するほか、新潟市の文化的な環境の充実、各分野の文化活動の活性化を目的とした事業を実施する。また、新潟市の文化政策の推進を総合的に支援する。

(1) 「アーツカウンシル新潟」の運営 52,400 千円

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 文化プログラムの“レガシー”を見据え、新潟市との連携により、市内の文化芸術活動の支援に加えて、文化芸術基本法に定められた、地域の歴史、風土等を反映した特色ある文化芸術の発展及び観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携に取り組む。

<文化芸術活動の支援>

事業実施、助成等の資金調達、情報発信及び広報等、文化芸術活動全般に関する市民団体等の相談を受け付け、助言、マッチング等の支援を行う。

また、市民主体の文化芸術活動の活性化と、持続・自律化に向けて、市や国、民間財団等が実施する助成制度を活用した支援を行う。

市内の文化芸術団体が持続的、自律的に活動することのできる基盤、仕組みづくりを進め、多くの市民が文化芸術に触れることのできる環境を創出することをめざす取り組みに対して、対象となる経費の3分の2以内、上限額100万円で助成金を交付する。なお、取り組みを実施する主体（団体、個人）としての成果を見込むものではなく、広く成果が共有できる取り組みを対象としている。

助成回数は3回を限度とし、2年目が2分の1以内、3年目が3分の1以内とする。

<調査・研究>

市内現況調査及び国内の先進事例調査等、文化芸術活動に関する相談受付、新潟市の文化施策の企画・立案に必要な調査・研究を行う。

りゅーとびあ専属舞踊団 Noism Company Niigata の評価検証に向けて、外部資金を獲得し、調査研究を実施する。(セゾン文化財団助成金額 500,000 円)

<情報発信>

市内の文化芸術活動を効果的に発信するため、SNS やホームページを活用、適宜更新し、支援情報等、文化プログラム推進に向けて効果的に情報発信を行う。

また、アーツカウンシル新潟の PR と、市民文化芸術活動団体の掘り起しや交流によるネットワーク形成等を目的に、市民が気軽に相談・利用できる文化情報スペースを運営するとともに、同スペースを活用し、有識者等、ゲストを交えた交流企画「語りの場」を概ね 6 回程度開催する。

あわせて、独立行政法人日本芸術文化振興会による「アーツカウンシルネットワーク」の事務局業務を受託、全国的な地域アーツカウンシルのネットワークの形成を支援する。(受託金額 9,701,341 円。令和 2 年度は 3,005,872 円)

<企画・立案>

市の文化政策として行う事業に対して、調査等に基づく専門的な見地から助言や提言を行う。また、『新潟市文化創造交流都市ビジョン』に対する政策・施策・事業評価を継続的に行うとともに条例制定及び次期ビジョンの策定に向けた支援を行う。

加えて、市の関連分野部署との連携を図り、モデル的な取り組みを進めていく。

(2) 支援助成事業 2,366 千円

市民の自発的な文化芸術活動の充実・活性化と新潟市の文化芸術活動の振興を目的として、市民が行う文化芸術事業に対して、申請時期を 3 回に分け、対象となる経費の 3 分の 2 以内、上限 20 万円で助成金を交付する。

助成回数は計 3 回を限度とし、補助率は 2 回目 2 分の 1 以内、3 回目 3 分の 1 以内とする。

(3) 坂口安吾顕彰事業 5,314 千円

新潟市が管理する安吾 風の館での資料展示を行うほか、「坂口安吾デジタルミュージアム (HP)」の充実、安吾顕彰団体と連携を図っての生誕祭の実施により安吾の普及啓発に努める。また、引き続き関連資料の調査研究を行う。

(4) 共催事業 2,367 千円

対象が市内広域におよぶ、文化振興に大きく貢献する以下の文化事業を共催し、負担金を支出する。

- ・ 第 68 回新潟市芸能まつり
- ・ 第 52 回新潟市美術展
- ・ 第 34 回新潟市郷土芸能公演

(5) 表彰顕彰事業	122 千円
新潟市美術展などの新潟市で開催される公募展に財団賞を交付する。		

○ 新潟市民芸術文化会館及び新潟市音楽文化会館

1,284,154千円

1 文化事業 539,056千円

市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館等諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニアの育成を目的とした事業を行う。

また、市民芸術文化会館、音楽文化会館、及び県民会館を芸術文化活動の拠点施設に、全国に向けて創造的に音楽・舞台芸術などを発信しながら芸術文化の振興を図る。

(1) 音楽事業 195,537千円

東京交響楽団との提携による質の高い演奏と幅広い曲目内容の演奏会、日本を代表するコンサートホールにふさわしい演奏家を招聘した世界水準の演奏会、親子を対象とした音楽ファン拡大のための演奏会など、バラエティに富んだプログラム内容を実施する。企画内容においても硬軟取り混ぜ、市民各層のさまざまなニーズに応えるラインナップとした。

① 鑑賞事業 (142,137)

ー東京交響楽団シリーズー

・東京交響楽団新潟定期演奏会

第119回 令和2年 5月31日(日) ～ベルク：ヴァイオリン協奏曲～

第120回 7月26日(日) ～マーラー：交響曲第5番～

第121回 9月27日(日) ～バルトーク：管弦楽のための協奏曲～

第122回 11月1日(日) ～チャイコフスキー：交響曲第6番悲愴～

第123回 12月6日(日) ～シューベルト：交響曲第8番グレート～

第124回 令和3年 3月21日(日) ～モーツァルト：交響曲第40番～

ー東響定期+α

・ザルツブルグ管弦楽団 令和2年11月25日(水)

※当初予定していた深セン交響楽団公演は、新型コロナ・ウィルス流行のため、来日中止となりました。

ーピアノ・リサイタルシリーズー

・No.40 牛田智大「月光&ショパン」 令和2年5月3日(日)

・No.41 松田華音「熱情&ロシア名曲集」 令和2年7月9日(木)

・No.42 藤田真央「悲愴&モーツァルト他」 令和2年8月26日(水)

ーりゅーとぴあ器楽リサイタルシリーズー

・No.9 石田泰尚ヴァイオリン・リサイタル 令和2年6月7日(日)

ーオルガン・シリーズー

・石丸由佳(新専属オルガニスト)オルガン・リサイタル 令和2年6月20日(土)

・オルガンクリスマス 令和2年12月24日(木)

ーホール体験事業ー

・ 1 コインコンサート	
Vol.106 「サクソフォン四重奏」	令和2年4月24日(金)
Vol.107 「ヴァイオリン」	令和2年6月24日(水)
Vol.108 「金管五重奏」	令和2年7月28日(火)
Vol.109 「クラリネット」	令和2年9月1日(火)
Vol.110 「オルガン」	令和2年10月21日(水)
Vol.111 「マリンバ」	令和2年12月3日(木)
ー室内楽ー	
・ No.38 奥村愛ヴァイオリン四重奏	令和2年5月2日(土)
・ No.39 ウルトラ・スーパー・チェロズ	令和2年5月3日(日)
・ No.40 椿三重奏 (Vn.Vc.P)	令和2年9月5日(土)
・ No.41 ジュリアード弦楽四重奏団	令和2年10月16日(金)
ーその他ー	
・ ドラゴンクエスト オーケストラ・コンサート	令和2年9月6日(日)
・ オペラシアターこんにゃく座「アルレッキーノ」	令和2年12月20日(日)
・ ジルベスターコンサート	令和2年12月31日(木)
ー振替公演ー	
※令和元年度に予定していたが、新型コロナ・ウィルス流行のため、公演を延期したもの	
・ 荘村清志ギター・リサイタル	当初 令和2年3月1日(日) →5月6日(木・祝) 音文
・ 徳永二男ヴァイオリン・リサイタル	当初 令和2年3月8日(日) →5月24日(日) 音文
・ 山本真希オルガン・リサイタル No.27	当初 令和2年3月15日(日) →5月30日(土)
・ りゅーとぴあアウトリーチ事業登録アーティスト ジョイント・リサイタル	当初 令和2年3月7日(土) →6月3日(水) 秋葉区
② 育成・普及事業 (53,400)	
ー子供たちのための音楽会ー	
・ 「オーケストラはキミのともだち」	令和2年8月1日(土)
ー市民参加合唱団ー	
・ にいがた東響コーラス	令和2年6月 ～令和3年3月
ージュニア等育成事業ー	
・ ジュニアオーケストラ教室育成事業	
第39回演奏会	令和2年8月30日(日)
クリスマス・コンサート	令和2年12月20日(日) 音文
・ 全国公立ジュニアオーケストラ連絡協議会	通年
・ ジュニア合唱団育成事業	
第30回定期演奏会	令和2年7月19日(日)

第 42 回新潟県少年少女合唱団合同演奏会	令和 2 年 8 月 16 日(日)
クリスマス・コンサート	令和 2 年 12 月 13 日(日)音文
にいがたジュニアコーラス・フェスティバル 2 0 2 1	令和 3 年 2 月 予定 北区
・ジュニア邦楽合奏教室育成事業	
第 25 回定期演奏会	令和 2 年 7 月 25 日(土)
和楽器わくわく体験デイ	令和 2 年 8 月 9 日 (日)
・ジュニア音楽教室第 16 回スプリングコンサート	令和 3 年 3 月 28 日(日)
ーその他ー	
・オルガン普及プログラム (サマーデイズ, ニューイヤー)	令和 2 年 8 月 8 日 (土) 他
・オルガン講座	令和 2 年 10 月以降
・りゅーとぴあアウトリーチ事業	通年
田村亮太サクソフォン・リサイタル	令和 2 年 12 月 11 日 (金)
小武内茜ファゴット・リサイタル	令和 2 年 12 月 12 日 (土)
・コンサートホール企画連絡会議	通年

(2) 演劇事業 162, 102 千円

多様な専門機能を持つ劇場を活用し、公共や民間の劇場がプロデュースした企画及び小劇場系の演劇作品や伝統芸能など様々な公演を開催し、にぎわいのある劇場空間の創造と観客の拡大を目指す。さらに専門ホールの特性を活用してりゅーとぴあ発の演劇作品を創造、全国に向けて発信する。本年度はプロデュース企画の「源氏物語の女たち」を実施する。演劇スタジオ APRICOT を通して次世代を担う子どもたちのなかから舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育むとともに、ワークショップの実施により、広く演劇に携わる人材の育成と市民への普及啓発を図る。

① 鑑賞事業 (100,239)

・「未練の幽霊と怪物」 1 回公演	令和 2 年 7 月 1 日(水)
・M&Oplays「リムジン」 1 回公演	令和 2 年 7 月 5 日(日)
・第三十二回ふるまち新潟をどり 2 回公演	令和 2 年 9 月 20 日 (日)
・「ゲルニカ」 3 回公演	令和 2 年 10 月 17 日(土)~18 日(日)
・「野田版 真夏の夜の夢」 1 回公演	令和 2 年 11 月 8 日(日)
・NE/ST 第 9 弾公演 JACROW「常闇、世を照らす (仮)」 1 回公演	令和 2 年 11 月 14 日 (土)
・白石加代子「百物語」 1 回公演	令和 2 年 12 月 12 日 (土)
・前川知大演出作品「(演目未定)」 2 回公演	令和 2 年 12 月 26 日 (土) ~27 日(日)
・「スルース」 1 回公演	令和 3 年 2 月 11 日 (木)
・水都寄席「春風亭小朝独演会」 1 回公演	令和 3 年 2 月 21 日 (日)

② 育成・普及事業 (13,557)

・りゅーとぴあ演劇スタジオ APRICOT	通年 (発表公演: 夏季・春季/アウトリーチ: 1 月)
・りゅーとぴあ演劇ワークショップ (一般対象)	(未定)
・リーディング体験ワークショップ (60 歳以上)	令和 2 年 4 月 23 日(木)~6 月 28 日(日)
	計 9 回/発表会 4 回

③ 新潟発創造事業 (48,306)

- ・りゅーとびあ発「源氏物語の女たち」 2回公演 令和3年1月10日(日)～11日(月)
- 〔東京公演〕あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 8回公演
- 令和3年1月21日(木)～31日(日)

(3) 能楽事業 24,101 千円

伝統様式に則った本格的な能舞台を活用し、子どもから一般までを対象として普及に重点をおいた鑑賞公演を実施する。これに際し、訪日外国人を意識した多言語パンフレットも作成する。さらに能狂言に対する知識や興味を高める能楽基礎講座。子供たちを対象とした囃子、謡と狂言のワークショップやアウトリーチなどの能楽体験ができる事業を開催することで若年層への能楽普及を図る。

① 鑑賞事業 (17,648)

- ・春の能楽鑑賞会「藤戸」(宝生流) 1回公演 令和2年5月9日(土)
- ・秋の能楽鑑賞会「(未定)」(観世流) 1回公演 令和2年10月17日(土)
- ・野村万作萬斎狂言公演 2回公演 令和2年11月15日(日)
- ・雪見能 1回公演 令和3年2月7日(日)

② 育成・普及事業 (6,453)

- ・能楽基礎講座「若手能楽師に聞く 能の楽しみ」 年3回
令和2年4月10日(金)、7月11日(土)、12月13日(日)
- ・能楽堂で楽しむ 秋の名月 令和2年9月4日(金)
- ・「さわってみよう能の世界」 令和2年12月5日(土)
- ・能楽ワークショップ&アウトリーチ [囃子] (能楽堂・市内小中学校)
令和2年6月9日(火)～10日(水)【予定】
- ・能楽アウトリーチ [謡] (市内中学校) 令和2年6月23日(火)～24日(水)
7月8日(水)～9日(木)
- ・能楽ワークショップ&アウトリーチ [狂言] (能楽堂・市内小中学校)
令和3年1月26日(火)～27日(水)

(4) 舞踊事業 102,091 千円

全国唯一のレジデンシャル・ダンス・カンパニーである Noism の活動による、水準の高い新潟オリジナルの舞踊作品を国内外に向けて創造発信することを通して舞台芸術の振興を図る。さらにアーティストが地域に定住する特性を生かし、舞台芸術に携わる優れた人材や観客を育む。また、新潟市や他都市の劇場・音楽堂等との連携・協力関係を構築することにより、全市的及び地方の拠点施設としての役割と地位を高め、文化創造都市としての更なるイメージ向上を目指す。

新潟発創造事業 (102,091)

- ・Noism Company Niigata カンパニー運営事業
- Noism0+Noism1+Noism2 合同公演 新作『春の祭典』+新作『FratresⅢ』
- 新潟公演 3回公演 令和2年6月12日(金)～14日(日)

東京公演	2回公演	令和2年6月19日(金)～21日(日)
札幌公演	2回公演 (受託公演)	令和2年7月2日(木)～3日(金)
豊橋公演	1回公演 (受託公演)	令和2年12月12日(土)
ロシア・ウラジオストク公演	1回公演 (受託公演)	令和2年10月
Noism0+Noism1 新作 DOUBLE BILL		
新潟公演	13回公演	令和3年1月22日(金)～2月11日(祝・木)
埼玉公演	5回公演	令和3年2月25日(木)～28日(日)
Noism 関連事業「柳都会」	2回開催予定	(5月、10月)
Noism オープンクラス		4月～5月 / 9月～11月(予定)
Noism アウトリーチ (中学校・高校)、Noism ワークショップなど		通年

ー振替公演ー

Noism2 定期公演(※)	4回公演	令和2年7月10日(金)～12日(日)
※令和元年度3月に予定していたが、新型コロナ・ウィルス流行のため、公演を延期したもの		

(その他受託公演)

TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2020 [サラダ音楽祭]

メインコンサート 出演 Noism0+Noism1+Noism2	1回公演	令和2年9月6日(日)
ロームシアター京都開館5周年記念		
シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 vol.4「雅楽」出演 Noism0	1回公演	令和3年1月10日(日)

(鑑賞事業)

C o.山田うん 新作ダンス公演	1回公演	令和3年3月6日(土)
------------------	------	-------------

(5) 共催事業 0 千円

芸術団体、文化事業実施団体等とのタイアップにより、効果的な事業運営と地域の芸術文化振興を図るほか、文化団体との共催による全国規模の事業を行う。

- ・春の新潟音楽ウィーク (新潟市) 令和2年5月2日(土)～3日(日)
- ・新潟劇王 (新潟劇王実行委員会) 令和2年5月4日(月)～6日(水)
- ・ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団 (TeNY) 令和2年9月17日(木)
- ・東京佼成ウィンドオーケストラ新潟公演(東京佼成ウィンドオーケストラ) 令和2年11月20日(金)
- ・第68回新潟市芸能まつり (新潟市音楽芸能協会) 令和2年10月～令和3年1月
- ・劇場で踊ろう！ダンスキッズ大集合(県女子体育連盟) 令和3年1月24日(日)

(6) 広報営業事業 18,841 千円

公演情報を積極的に発信するとともに、チケット購入者の拡大や大口の顧客確保、ホールスポンサー制度など、広報・営業活動を効果的に展開していく。合わせて上質な施設機能を広くアピールすることで、会館の知名度の拡大と利用促進を図る。

昨年からの新チケットシステムの稼働により、友の会とインターネット会員の獲得、業務の効率化を図っていく。

また、指定管理を受託している新潟県民会館の事業も併せて広報・営業活動を効果的に展開

し、市民芸術文化会館、音楽文化会館、県民会館の3館一体管理による文化ゾーンとしての魅力を高め発信していく。

- ・広報営業事業
- ・音楽広報事業
- ・演劇広報事業

(7) 調査研究諸費 942 千円

次年度以降の事業の企画立案や円滑な施設運営を図るため、先進ホールの運営や優れた公演などについて調査・研究を進め、ノウハウの取得や人的交流の拡大に努める。

(8) 事業企画諸費 13,273 千円

音楽・演劇・舞踊等の各分野において、その専門家からの指導・助言を受け、優れた芸術文化事業を効果的に企画・実施するとともに、専属オルガニストを引き続き配置し、オルガン音楽の魅力を内外に発信する。

- ・芸術監督（音楽部門・演劇部門・舞踊部門）
- ・専属オルガニスト
- ・演劇企画プロデューサー

(9) 事業管理経費 22,169 千円

票券業務、託児サービス業務などを引き続き実施し、お客様の利便性の向上に努める。

2 文化施設管理受託事業 745,098 千円

(1) 市民芸術文化会館管理事業 622,773 千円

平成10年10月に開館した市民芸術文化会館は、通年の自主事業・貸館事業等に市民を始めとする多くの方々に来館いただいている。

令和2年度も一層のサービス向上に努め、より多くの来館者に安心・快適に利用してもらえるよう管理運営を行う。

- ① コンサートホールの管理
- ② 劇場の管理
- ③ 能楽堂の管理
- ④ ギャラリーの管理
- ⑤ スタジオの管理
- ⑥ 練習室の管理

(2) 音楽文化会館管理事業 122,325 千円

昭和52年11月に開館した音楽文化会館は、13の練習室と成果発表に多く使用されるホールを備えた全国でも特徴のある施設として永く市民に親しまれてきた。

平成10年度より当財団がその管理を受託している。

令和 2 年度も市民芸術文化会館及び県民会館との一体的な管理を図りながら会館の管理運営を行う。

- ① ホールの管理
- ② 練習室（13 室）の管理

○ 新潟県民会館

144,401 千円

1 文化事業 17,483 千円

県民会館の舞台機能等を活かした大型舞台芸術の公演や県内全域での芸術文化の普及事業、さらには県内公立文化施設の活性化に向けた事業などを展開する。

また令和元年度より導入となった、新チケット販売システムや、新潟市民芸術文化会館との連携による広報などを活用し、令和2年度も、事業のさらなる活性化と収益の拡大を目指す。

- ・歌舞伎プレセミナー 令和2年4月13日(月)
- ・刀剣乱舞 -本丸博-2020 (ギャラリーA・Bにて展覧)
令和2年4月18日(土)～令和2年5月10日(日)
- ・松竹大歌舞伎 2回公演 令和2年5月12日(火)
- ・中澤 卓也 2回公演 令和2年7月4日(土)
- ・鼓童×ロベール・ルパージュ<NOVA>新潟公演 3回公演
令和2年7月10・11・12日(金・土・日)
- ・ふれあいホッとコンサート in 県民会館 1回公演 令和2年7月19日(日)
- ・劇団四季「コーラスライン」 2回公演 令和2年7月22・23日(水・木祝)
- ・恐竜どうぶつ園 2回公演 令和2年8月7日(金)
- ・宝塚歌劇団 全国ツアー 2回公演 令和2年9月10日(火)
- ・鼓童「ワン・アース・ツアー2020」 1回公演 令和2年12月23日(水)
会場 新潟テルサ
- ・太鼓出張訪問ワークショップ 開催日未定
- ・アート・プロデュース講座 開催日未定
- ・アウトリーチ事業 開催日未定

2 文化施設管理受託事業 126,918 千円

県民会館管理事業

県民会館は、県民の生活の向上と、教育、文化の発展に寄与するという目的のもとに設置された施設であることから、この設置意義を十分認識し、新潟県内における文化振興の拠点施設として適切に機能するよう管理運営に取り組むとともに、市民芸術文化会館及び音楽文化会館との連携を図る。

- ① 大ホールの管理
- ② 小ホールの管理
- ③ ギャラリーの管理
- ④ その他施設(会議室・談話室、展示コーナー、情報ラウンジ等)の管理

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等 154,323 千円

1 文化事業 20,528 千円

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新 0 千円

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業 7,589 千円

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「いっぴん」展

開催期間 令和2年4月11日～6月7日 50日間

みなとびあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめる「いっぴん」を選び、見どころとともに紹介する。

② 「潟のくらし」展

開催期間 令和2年7月11日～8月23日 38日間

新潟市域の潟や周辺の低湿地を活かしつつ営んできた先人の暮らしを振り返るとともに、潟をめぐる歴史・生物・地質など各分野の知見を紹介する。

③ 第17回むかしのくらし展「新潟の昭和」

開催期間 令和2年9月12日～11月3日 47日間

令和へと改元され、子どもたちにとっては遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の人々の暮らしや風俗、町の様子などを紹介する。

④ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和3年2月13日～3月28日 36日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、令和2年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業 734 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- ・ 博物館講座 年9回（4、12月、3月を除く各月の第3日曜日）
- ・ 館長講座 全4回（3/7・14・21・28）
- ・ 古文書入門講座 全4回（開催日調整中）

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業 2,443 千円

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業 740 千円

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

- (6) 資料整理事業 825 千円
 寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。
- ① 保存環境管理
 歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。
 新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校・旧板井保育園等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。
 - ② 資料収集整理
 地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。
- (7) 自主事業「みなとびあ歴史発見プロジェクト」 8,197 千円
 平成 27 年度から実施している自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港 150 周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。
- ① 企画展
 「生誕 320 年 五十嵐浚明」展
 開催期間 令和 2 年 11 月 14 日～12 月 27 日 38 日間
 新潟町に生まれた江戸時代中期の絵師・五十嵐浚明の生誕 320 年を記念し、新潟で大切にされてきた作品をはじめ、各地に残る作品を広く集めて紹介する。
 - ② 史楽講座
 歴史好きの市民に向け、テーマに沿った話を様々な視点で分かりやすく語ってもらう連続講座。全 4 回で開催予定。
 - ③ 中級古文書演習
 「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読みたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。
 全 20 回の講座。4～3 月の間、第 2、第 4 水曜日の午前・午後を開講。定員 30 人。
 - ④ みなとびあこども歴史クラブ
 小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。
 毎月第 3 日曜日に実施 全 11 回 40 人程度募集
 - ⑤ 大人の体験プログラム
 大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

2 文化施設管理受託事業 133,795 千円

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

1 文化事業 1,703 千円

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業 432 千円

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

- ① 桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・他門川」
開催期間 令和2年4月4日（土）～5月10日（日）
桜井進一氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。
- ② ミニ企画展「端午の節句飾り」展
開催期間 令和2年4月25日（土）～5月6日（水）
小澤家に伝わる端午の節句飾りを展示する。
- ③ 「和時計」展
開催期間 令和2年5月23日（土）～6月14日（日）
時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介する。
協力：新潟ハイカラ文庫
- ④ 「着物」展
開催期間 令和2年6月20日（土）～7月19日（日）
小澤家で使用された着物を展示紹介する。
協力：大嶋屋
- ⑤ 「みんなの問題・海のごみ」展
開催期間 令和2年7月18日（土）～8月2日（日）
一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。
協力：一般社団法人JEAN
- ⑥ 「うちわ」展
開催期間 令和2年7月25日（土）～8月30日（日）
夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介する。
- ⑦ 夏の寝間展示
開催期間 令和2年8月8日（土）～8月23日（日）
夏にあわせて、寝室だった寝間に蚊帳を吊って演出する。

⑧「ふろしき」展

開催期間 令和2年9月5日(土)～9月27日(日)

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示する。これにあたり小澤氏所蔵の古いふろしきと現代のふろしきをあわせて展示することで、用途のみならず、その意匠の違いを新旧比較してみるための機会とする。

共催：大嶋屋

⑨「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

開催期間 令和2年10月17日(土)～11月8日(日)

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介する。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑩ ボランティア企画「新潟の新聞」展 I

開催期間 令和2年11月14日(土)～12月13日(日)

当館ボランティアスタッフ有志による、市民参加型の企画展。新潟の新聞をテーマに、ボランティアスタッフが展示内容を検討し、展示設営作業を行う。

⑪「羽子板」展

開催期間 令和2年12月19日(土)～令和3年1月17日(日)

新年にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介する。

⑫「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和3年2月20日(土)～3月21日(日)

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛も展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業 422 千円

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験、生紙体験（「新潟仏壇・生紙」展中）

着物体験（「着物」展中）

稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）

・落語口演会

・新潟甚句、佐渡おけさ講習会

・クリスマスのフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレッスン

② 宿泊体験事業

- ・新潟市内の小学4年生を招いて、宿泊体験を行う。
 - ③ 講座・講習・講演会事業
 - ・企画展の内容に即した講演会
 - ふろしき講座（「ふろしき」展中）
 - からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）
 - ・掛け軸講座
 - ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）
 - ・秋の酒づくり、春の酒づくり（秋1回、冬1回）
 - ④ ボランティアガイド事業
 - ・新規ボランティア養成
 - ・ボランティア勉強会の実施
 - ・ボランティア企画展の実施
- (3) 施設普及事業 500 千円
- 旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。
- また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。
- ① 芸術文化活動の開催
 - ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和3年1月中
 - ② 季節に合わせたしつらい
 - ・山野草の展示
 - ③ 季節に合わせたイベントの開催
 - ・藤見煎茶会 令和2年5月10日（日）
 - ・夏至祭 令和2年6月20日（土）、21日（日）
 - ・秋の大文化祭 令和2年11月23日（月）
 - ・年忘れ煎茶会 令和2年12月20日（日）
 - ④ 食をテーマにしたイベントの開催
 - ・ごつつお会
- (4) 調査研究事業 113 千円
- 市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。
- 「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。
- (5) 収蔵資料の保存管理事業 216 千円
- 旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。
- (6) その他事業 20 千円
- 地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。
- ・新潟市民茶会 令和2年10月4日（日）

2 文化施設管理受託事業 16,886 千円

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

1 付帯事業 28, 309 千円

(1) 市民芸術文化会館付帯事業 24, 739 千円

市民芸術文化会館の文化事業を推進し、館のイメージアップを図るため、来館者へのサービスを充実するとともに施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 友の会の運営
- ② ショップの運営
- ③ 飲食サービスの実施
- ④ 貸館公演チケットの受託販売
- ⑤ バックステージツアーの実施

(2) 音楽文化会館付帯事業 1, 984 千円

来館者に対するサービスを充実するとともに、館の認知度を高めるため、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 自動販売機等の設置
- ② 貸館公演チケットの受託販売
- ③ 市民参加型企画の実施

(3) 県民会館付帯事業 22 千円

来館者に対するサービス充実のため、館のイメージアップを図り、施設に触れる機会の提供に努める。

- ① 貸館公演チケットの受託販売
- ② 自動販売機の設置
- ③ 各種サービス事業の実施

(4) 歴史博物館付帯事業 1, 378 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機の設置

(5) 旧小澤家住宅付帯事業 186 千円

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

2 施設貸与事業 **225,926 千円**

来館者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出を行う。

- | | |
|------------|----------|
| ① 市民芸術文化会館 | (58,598) |
| ② 音楽文化会館 | (1,611) |
| ③ 県民会館 | (75,180) |
| ④ 歴史博物館 | (75,259) |
| ⑤ 旧小澤家住宅 | (15,278) |